

常総市総合教育会議 会議録（要旨）

【日 時】 平成28年3月23日（水）午後1時～

【場 所】 常総市役所本庁舎庁議室

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 協議
 - (1) 常総市総合教育会議運営要綱（案）について
 - (2) 教育に関する大綱（案）について
- 4 その他
- 5 閉 会

出 席 者

教 育 委 員：山口大教育長，石塚教育委員長，平井丈史教育委員，川生智子教育委員，石塚教育委員

教育委員会：増田教育部長，染谷学校教育課長，佐藤指導課長

市 長 部 局：高杉市長，加倉田企画部長，長妻企画課長，西村企画調整係長

企画課長	ただいまから、常総市総合教育会議を開催いたします。高杉市長よりご挨拶申し上げます。
市長	常総市の子供達に生きる力を育める教育、常総市らしさを皆さんと一緒に考えていければと思います。 本日の教育会議、昨年から教育委員会関係の制度が大きく変わってきています。教育委員会制度は時代を経るごとに少しずつ制度も変化してきていますが、<u>政治と教育の独立がしっかりと保てるよう</u>、今後も運営していきたいと思っています。 <u>それでは</u> 協議に入りたいと思います。市長が議長となっておりますので、協議事項より市長の進行により進めたいと存じます。
企画課長	協議に入ります。まず1件目は、 <u>常総市総合教育会議の運営要綱（案）</u> についてです。このことについて事務局から説明をお願いします。
市長	それでは、協議に入ります。まず1件目は、 <u>常総市総合教育会議の運営要綱（案）</u> についてです。このことについて事務局から説明をお願いします。
企画課長	本日ご提案する要綱は、 <u>法律に定められている事柄事案</u> について、 <u>それを</u> 条文化したものです。（資料に基づき説明）
市長	ただいま説明がありましたが、<u>ご協議意見ご質問</u>はございませんか。 なければ、<u>本案のとおり決定したいと思います。続いて</u>2つ目の案件、教育に関する大綱案について説明願います。
指導課長	大綱ということなので市の教育に関する最も基本的な方針を示す内容で作成<u>しています</u>。文章だけが羅列されているものや「推進計画」とも思えるような詳細な事柄までを記載している事例も<u>ありますが</u>、本市では、あくまでも大綱ということで、より教育の概念がわかりやすいようにということを念頭において素案を作成し<u>ました</u>。この大綱に沿って、さらに細かな推進計画等に落とし込むことになる<u>予定です。わけである。</u>なお、常総市総合計画後期基本計画及び茨城県のエデュケーション2025の教育目標との整合性をとった内容と<u>しています。</u> なっている。 ※以下 資料（大綱案）により説明。
市長	

今、事務局から説明がありました。大綱案について協議に入りたいと思います。ご意見をお願いいたします。

教育の中で一番掲げてもらいたいのは、「夢」です。昨年の水害以降、なかなか将来の夢が持てないとか自分の夢を持つのを遠慮しているような子供たちもいるのではないかと考えています。~~親の大変な姿を間近で見ている、自分の夢のことなんか言っていられないと、夢をあきらめるような子もいるかもしれないと思うのです。~~

~~ですから、「そんなことはない、常総市は君たちの夢を支えるよ」という姿勢が表面に出ている大綱であってほしいと思うのです。~~この常総市に住んでいる限り、私たちは夢を持っていいのだと思える大綱が、今の常総市の教育大綱として必要なのだと思います。

その手段の部分が、ほんとサタデーなどの事業なのだと思います。読書教育についても、心を豊かにするだけではなく、むしろ夢を叶える読書教育という方向性が良いのではないかと考えています。

~~読書には、他の人の成功事例や失敗事例、挫折をどうやって乗り越えたのかなど、自分の夢を実現するための沢山のヒントが潜んでいます。単に本をたくさん読みましょうという読書教育ではなく、たくさんの本に触れることは、自分の夢を実現することにつながるのだということ教える読書教育であれば、より心に響くのではないかと考えています。~~

また、私は水害を機にこのまちを去っていく人をたくさん見てきました。そのようなことから、郷土を愛する心を育み、この地に根付いてくれる人を育てるための大綱であってほしいと思います。このままだと、10年後 20年後寂しいまちになってしまうと思います。

としては、教育の中で一番掲げてもらいたいのは、「夢」です。昨年の水害以降、なかなか将来の夢が持てないとか自分の夢を持つのを遠慮しているような子供たちもいるのではないかと考えています。~~親の大変な姿を間近で見ている、自分の夢のことなんか言っていられないと、夢をあきらめるような子もいるかもしれないと思うのです。~~

~~ですから、「そんなことはない、常総市は君たちの夢を支えるよ」という姿勢が表面に出ている大綱であってほしいと思うのです。~~この常総市に住んでいる限り、私たちは夢を持っていいのだと思える大綱が、今の常総市の教育大綱として必要なのだと思います。その手段の部分が、ほんとサタデーなどの事業なのだと思います。読書教育についても、心を豊かにするだけではなく、むしろ夢を叶える読書教育という方向性が良いのではないかと考えています。~~読書には、他の人の成功事例や失敗事例、挫折をどうやって乗り越えたのかなど、自分の夢を実現するための沢山のヒントが潜んでいます。単に本をたくさん読みましょうという読書教育ではなく、たくさんの本に触れることは、自分の夢を実現することにつながるのだということ教える読書教育であれば、より心に響くのではないかと考えています。~~

また、私は水害を機にこのまちを去っていく人をたくさん見てきました。そのようなことから、郷土を愛する心を育み、この地に根付いてくれる人を育てるための大綱であってほしいと思います。このままだと、10年後 20年後寂しいまちになってしまうと思います。

員長 —全体的に良くまとまった大綱案だと思います。~~私も~~もう少し常総市らしい切り口が欲しいと感じます。今既に取り組んでいることが沢山あるのだから、大綱だから良いという考えもあるとは思うが、私はもう少し具体的に入れた方がよいと感じました。

市長 今ここで具体的な修正案は思いつきませんが、例えば防災意識を育てるという記載のところなどは、もう少し常総市らしい表現の方法があるかもしれません。~~また、ICTに関しては他市に比べて進んでいる面があると思うので、その辺についても、先ほど石塚委員が言った「夢」と絡めて何か常総市の色を出すことが出来るのではないかと思います。~~

もう少し常総市らしさを出すべきということですね。

市長 —大綱は、法律で言えば憲法のようなもの、という説明がありましたが、そのとおりだと思います。この案は、全体的にみて大綱としてふさわしいものに仕上がっているのではないかと思います。指導課長からの説明のとおり、文章の羅列ではなく、視覚的にわかりやすく、非常に良い。~~また、体言止めにこだわったという点も、細かい点ではあるがとても好きです。~~先ほど「夢」というお話があったが、大綱なので、全ての部分に「夢」を絡めるのはなかなか難しいと思います。そのようなことから、大綱の一番上段のところに「夢」を付けて、それがすべて下の部分に掛かってくるという解釈も可能です。よく夢と目標を持てと教えますが、身近な目標に向けて小さなことをコツコツやっていった結果が大きな夢の実現に繋がります。読書も勉強も夢の実現のためなのだという教育方針はもちろんそのとおりです。

平井委員 ただし大綱上、夢という文字を強調してすべてに絡めなくてもよいかもしれない。また郷土愛については、郷土を愛しなさいと言い切ってしまうことについては慎重になるべき。子供たちが愛してくれるような市、学校、先生方になっていくということが必要で、その結果として郷土を愛してくれる人間が育っていくということが自然で望ましい流れだと思います。市の教育方針について全てを網羅的に入れ込むのはなかなか大変な中、よくできた案だと私は思います。

川生委員÷ とても見やすく、体系だっていてわかりやすくできていると思います。細かい点については、皆さんがおっしゃるように、「夢」がもっと入っていても良いのではないかと思います。また、防災意識については、先日の災害を忘れないように意識するという内容が入っているので良いと思います。さらに、私はスポーツ少年団の指導に関わったことがあるのですが、これはどこの市でもやっていることではありますが、もっとバックアップしていくと良いのではないかと思いますので、その辺が入れてもらえると良いと思います。

—スポーツ少年団という具体的な団体への支援ということについては、「活動団体への支援」とすれば、そこで様々な団体の活動が網羅

できます。また、常総市らしさをどのようにして表現するかということは私もずっと考えていたことですが、その常総市らしさという部分を表すのが、一番上の「夢と生きる力を持ち・・・」の部分です。これは、常総市の教育の大きな目標です。常総市らしさを表現するが故に、この大綱に運営方針や各学校で作る今年度の施策で表すべき細かなものを掲載してしまうと、これは既に大綱ではなくなってしまいます。大綱とは常総市の教育の一番上位のものであり、それを見た時に、常総市の教育とはどんなものなのかが一目でわかるものであるべきです。

例えば、市長が他自治体の人から常総市の教育について聞かれた時に、一言で表現が出てくるようなものでなければなりません。そういうことから、この案にある「夢と生きる力を持ち・・・」などは、常総市の大きな教育目標として大綱に掲げる表現としてふさわしいのではないかと思います。

大綱では、あまりにも常総市独自の色を出して偏ってしまうことは良くないと考えます。それは大綱の下層の段階でやるべきことです。例えば、年度計画や3年計画の中で他市がやっていない教育施策を実施することについて記載するのなら良いと思いますが、教育の大きな目標となるべき大綱においては、大きくかたよることは出来ないと思います。そのようなことから、この大綱案には、最大限常総市の色を出す表現として、大上段に「夢」と「郷土」という言葉を使いました。

~~また、常総市では他市でやっていない面白い教育施策を実際には結構やっています。しかし、大綱にそのような具体的な施策、例えば、オリエンテーションキャンプやほっとサタデーを実施しますというようなことを入れ込むべきではないと思います。「常総市の教育を知りたい」と言われた場合に、何が一番知りたいのかというと、それは「常総市は、子供をどう育てるか」についてだと思いのです。教育の概念の80パーセントはこの点にあるのだと思います。大綱案に記載してある文言一つ一つについては、まだまだ精査する必要がありますが、基本的には「子供をどう育てるか」という視点からすべてを整理してみたのがこの大綱案です。~~

~~なお、先ほど指導課長から、すべて体言止めにしてあると説明がありましたが、それに加えて、ここに書いてある文言はすべて「目指す姿」で表現しています。「これをやります。」ではなく「このような姿を目指します。」という目標としての表現にしています。~~

~~また、私たち事務局が考えていたのと別の視点からのご意見をいただけることは非常にありがたいと思います。石塚委員長からのICT関連が抜けているとのご指摘のように。~~

最後に、学校教育の中に、人権教育について加えてあります。私は（先生方に）一人一人を大切に作る教育に力を注いでほしいと常日頃から言っています。特別支援も福祉教育もすべて一人一人を大切に作る教育といえるわけで、それらをすべて含めた言葉として人権教育という言葉で表現しても良いと思い、そのように記載しました。

昨年長岡市を視察しました。長岡市は、特徴が教育に出ていると感じました。長岡市は歴史的に他から侵略を受けてきた歴史があり、

それらの歴史を背景に、非常に個性的な色が出ているように見えました。今、具体的な案は思い浮かびませんが、常総市も歴史という切り口で何か取り入れるべきものがあるかもしれないと感じます。

また、一人一人を大切にする教育という意味を込めた「人権教育」が大綱に入っているのは非常に良いと思います。教育において最も重要なことであり、先生方と行政がこの考え方をしっかり持っていれば、近年報道で騒がれているような学校問題は決して起こらないと思います。

石塚委員
長：

—人権教育、一人一人を大切にする教育という内容が入っているのは素晴らしいと思います。なお、細かな点ですが、防災意識という文言については、最近よく使われる言葉を使って、危機管理意識と言い換えても良いのではないかと思います。

郷土愛のところで使われている表現「ふるさとを愛し」は、「ふるさとをよく知り」のほうが良いと感じました。市の歴史であつたり市の現状であつたりをよく知り、そのうえで郷土愛を育てていこうという流れの方が良いと思います。

平井委員：

—委員の皆さまにも市長にも、今日初めてこの大綱案をご覧くださいわけなので、この場で決定するというふうには考えておりません。ただし、これから何カ月も議論して決定するということでは教育が先に進まないで、細かな表現については別として、大筋の流れについてこの案でご了解をいただき、その後は定例の教育委員会などで委員の皆さんに何度か見てもらい、精査していき、もう1回総合教育会議を開いてそこで決定という進め方で考えたいと思います。

石塚委員：

~~高杉市長：大綱は4月1日にスタートしなければならないのでしょうか。~~

山口教育
長：

~~山口教育長：要綱をスタートすればよいのではなかったでしょうか。~~

委員

~~染谷学校教育課長：制度的には既に平成27年4月1日からスタートしています。~~

~~長妻企画課長：本日が、実質最初の総合教育会議となると思うので、要綱については本日の日付で施行ということで良いと考えます。~~

~~加倉田企画部長：大綱については、市の次期総合計画が平成30年度からスタートということもあるので、大綱の計画期間と総合計画の~~

~~整合を念頭に置いて、調整をすべきと考えます。~~

委員

~~山口教育長：大綱には、策定日を定め、記載をすべきですか。~~

~~染谷学校教育課長：むしろ大綱の計画期間を定める必要があります。国の指針では、概ね 5 年となっています。土浦市は総合計画の見直しを考慮して 3 年間としたようです。~~

委員

~~山口教育長：本市の次期総合計画が平成 30 年度からだとすれば、それに合わせた方が良くないのでしょうか。そうすると大綱の計画期間を平成 28 年度から 30 年度とし、完成した次期総合計画を反映して、必要に応じて大綱を修正するという事で良いだろうと思います。~~

教育長

~~加倉田企画部長：逆に、この大綱を次期総合計画に反映させるというのも一つの方法だと思います。その方が素直な流れだと思います。~~

市長

~~高杉市長：それでは~~

~~ー大綱の大筋としては、ア原案どおりで良しとし、イ細かな字句の修正については今後精査し加除修正することで決定したいと思いますがよろしいでしょうか。~~

~~高杉市長：次に、ア次第の「その他」について、イ何かありますか。~~

市長

~~(教員の時間外勤務の経常化の問題等について意見交換。)~~

~~高杉市長：ほかになれば、アこれで本日の会議を終了いたします。~~

以上

